



# 老人保健施設 サンタマリアニュース

発行日：2011年10月  
発行責任者：永井 敏也  
発行者：広報委員会

## シスターのこぼ

### 『アンジェラスの鐘』

マリアさま わたしたちのために祈って下さい。

ずいぶん、前の話しになりますが、1987年にローマ、オランダ、ドイツの聖霊会の修道院を訪問する機会がありました。バスでオランダからドイツに旅に出た時、町を離れると、田園風景が眼前に広がり、見とれていました。それから、しばらくして、やっと田園の外れに教会の高い塔がぼんやりと見えて来ました。だんだん近づくとつれて、その周りに民家が見え始めました。



フランスの画家ミレーの描いた絵に、若い男女二人の農民が手を合わせて祈っている風景画があります。「晩鐘」という有名な絵で、よく見ると、二人の後方に村の教会の教会堂の塔が見えます。彼らは、そこから響いてくるアンジェラスの鐘に合わせて晩の祈りを唱えているのです。この絵を見ていると、ドイツでの風景が重なって思い出されて来ました。

教会の高い塔から朝、昼、晩響いてくる鐘の音には、人の心を温めるような働きがあります。「アンジェラス」とは「み使い」を意味するラテン語で「主のみ使いのお告げを受けて、マリアは聖霊によって神の御子をよどされた。」で始まるマリアを賛美する「お告げの祈り」の最初の言葉です。

マリアは主のみ使いのお告げを受けて愛と信仰のうちにお告げを承諾された。マリアに倣い、神の招きに愛と信頼をもって応えていくお恵みを願いましょう。

「愛と永遠」ペトロ・ネメシエギからの抜粋  
カトリック社会事業家族相談室 シスター高橋順子

### — 利用者様の作品 —



## フロアリハビリ

当施設では去年の5月からフロアリハビリを始め  
ています。フロアリハビリと聞いて、リハビリスタ  
ッフが行うものだと思われる方も多いでしょう。し  
かし、フロアリハビリとはリハビリ室ではなくて各  
フロアで、ケアスタッフが主体で行うリハビリのこ  
とをいいます。

フロアリハビリ開始のきっかけは、ケアスタッフが  
他の施設を見学した際、フロアリハビリの存在を知  
ったのが始まりです。



利用者の方々は、転倒の危険性もあるため安全を  
第一に車いすで生活している方も多く、足の筋力が  
低下しがちです。リハビリスタッフが行うリハビリ  
だけでは、時間の制限も有り限界があります。実生  
活の中で一番身近に関わっているケアスタッフがリ  
ハビリを行うことによって身体能力の向上につなげ  
ています。



フロアリハビリには、個別リハビリと集団リハビ  
リがあります。個別リハビリは、リハビリスタッフ  
が利用者様を評価して、その人にあったメニューを  
考え、ケアスタッフが個別にリハビリを行います。  
また、集団リハビリとは、足や手を動かす体操や、  
嚥下体操などを集団で一斉に行います。個別・集団  
を毎日の生活の中で上手に使いながらリハビリを行  
っています。



フロアリハビリの実施後、いくつかの変化がみら  
れました。オムツからトイレ誘導へ、一般浴へ移行  
するなどレベルのアップした利用者様が増え、身体  
能力の向上につながりました。他には、フロアリハ  
ビリを始める前より、転倒等の事故が減りました。

職員は利用者様との触れ合いが増え、日々の体調、気分の変化にもいち早く気づき、コミュニ  
ケーションの増大に繋がりました。そしてフロアリハビリは利用様の意欲向上にもつながり、  
以前より利用者様の笑顔がみられ、現在では自らすすんでフロアリハビリに参加されます。そ  
のひとつひとつが職員のやりがいにもなっています。

サンタマリアでは、今後もフロアリハビリの充実に力を入れていきたいと考えています。

リハビリ部門：言語聴覚士 小島千穂





夏祭り：平成23年7月30日

今年も賑やかに夏祭りが行われ、出し物やお祭りならではの露店を楽しみました。



フラダンス



ゲームコーナー  
「射的」



和太鼓



鳴子踊り



ところてん作り、幼稚園児慰問、サンタマリア祭ミサ



おやつ作り

(平成23年5月2日)  
昔懐かしい  
ところてんを  
作りました

サンタマリア祭ミサ

(平成23年8月3日)  
聖母マリアの被昇天を  
祝って祈りを捧げました



幼稚園児慰問

(平成23年6月8日)  
元気な子ども達から  
歌と肩たたきの  
プレゼント



長寿を祝う会：平成23年9月17日

ご家族の皆様と一緒に  
利用者様のご長寿をお祝いしました。



日本舞踊



男性職員による  
「ミス・サンタマリア」  
コンテスト



大正琴



95歳以上の方の表彰



## 部門紹介【介護支援専門員部門】

介護支援サービス部門の主な仕事は、次の3つです。

### ① 施設サービス計画（ケアプラン）の作成と見直し

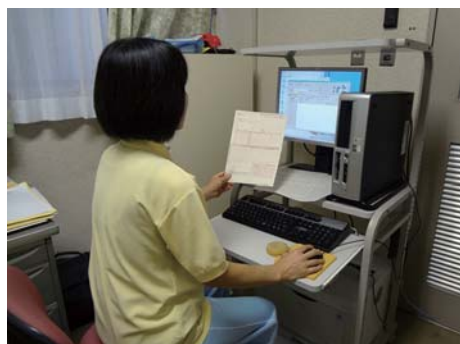
利用者様、ご家族様のご希望や価値観を大切にしながら、各専門職が計画したサービス内容を調整し、計画書にまとめ、利用者様、ご家族様に説明をさせていただいております。

### ② 要介護認定に係わる認定調査と、介護保険証の管理

利用者様の要介護認定の更新、区分変更の審査のために役所に提出する必要書類の作成を行なっています。

### ③ 入退所ご希望の方の訪問と相談

新たに入所を希望されている方の情報収集のための実態調査や、退所を希望されている利用者様のご自宅を各専門職とともに訪問し、情報の提供や、退所に向けた相談をさせていただいております。



この部門は、単独では成立することができません。利用者様、ご家族様、施設内の全ての職員との協力、連携の上に、現在、職員1名で担当させていただいております。

皆様との出会いに感謝して、1日1日を大切に、ともに歩ませていただきたいと思います。より良いサービスの提供を目指して、日々努力して参りますので、ご意見、ご要望を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

介護支援専門員 村松雅子

## 永年勤続表彰

平成23年8月12日に聖霊会の永年勤続表彰式が執り行われました。サンタマリアからは7名の職員が表彰されました。

### ◆勤続20年

坂口里美（食養部門）、森内愉美（事務部門）、宮崎眞知子、中野きみ子（看護部門）、小島美南（介護部門）

### ◆勤続10年

高木順子（事務部門）、川原清子（看護部門）



## 冬季感染症について

インフルエンザ、ノロウイルスなどの冬季感染症に注意しましょう

手洗い・うがいの励行、マスクの着用と共に、毎日の健康管理にも注意しましょう。今年も施設内で入所者の方のインフルエンザ予防接種を実施いたしますので、ご協力ください。詳細は別紙「インフルエンザ予防接種のお知らせ」をご覧ください。

感染防止委員会

社会福祉法人 聖霊会 老人保健施設 サンタマリア

住所：名古屋市天白区鴻の巣11101 Email：info@santamaria.or.jp  
電話：052（803）3611 ホームページ：http://www.santamaria.or.jp  
FAX：052（803）7435

次回発行予定 平成24年4月